

就職氷河期世代等への就業支援について

【担当省庁】厚生労働省

国において、以下の措置を講じるなど、あらゆる手段を尽くして就職氷河期世代の就業支援等を押し進めていただきたい。

○「就職氷河期世代活躍支援プラン」の効果的な推進

行政のみならず経済団体や労働者団体も参画している「京都府中小企業人材確保推進機構」を京都府でのプラットフォームに位置づけた上で、求職者や企業向け支援の取組について、既に公労使協働で実施している取組を活用して実施いただきたい。

- ・ 京都ジョブパークハローワークコーナーの府と共同の相談窓口への専門担当者によるチームの配置
- ・ 企業とのマッチング機会創出について、他世代も含めた府の一体的実施事業の活用
- ・ 個別の相談にとどまらない、関係機関合同の「ワンストップ特別相談会」の開催
- ・ 「民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者の就職支援事業」の実施地域（都道府県労働局）として京都を選定

○全国的な取組の推進

- ・ 就職氷河期世代についての全国的な実態調査の実施 及び調査結果を踏まえたひきこもりの方への支援等に関する課題について、福祉施策から基礎的・実践的就労支援へと段階的にステップアップできるようなシームレスな社会的自立支援施策の推進
- ・ 就職困難者を対象とした職業訓練から就職定着支援までの伴走支援を「公的職業訓練」に位置づけ、訓練生を「職業訓練受講給付金」の支給対象とすること等による訓練期間中の生活支援
- ・ 支援対象者に対する積極的な広報の実施及び就職氷河期世代の積極的な採用活動や正規雇用化への企業に対する協力依頼

【現状・課題等】

- ・ 雇用情勢は改善しているものの、府内の35～44歳の労働者のうち、非正規労働者の占める割合は31.5%で、全国平均29.9%を上回っている状況（平成29年就業構造基本調査）であり、その活躍に向けて支援をしていくことが必要

京 都 府 の 担 当 課	商工労働観光部 人材確保推進室 (075-682-8913) 人材確保・労働政策課 (075-414-5085) 人材開発推進課 (075-414-4872)
------------------	---

【国の事業等】

■概算要求 [厚生労働省]

▶ 就職氷河期世代活躍支援プランの実施 653 億円（令和元年度予算 489 億円）

<内容>

- ・官民協働スキームとして関係者で構成するプラットフォームの形成
- ハローワークにおける専門窓口の設置、専門担当者のチーム制による就職相談、職業紹介、職場定着までの一貫した伴走型支援
- ・民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者への就職支援
- 就職氷河期世代の失業者等を正社員で雇い入れた企業への助成金の拡充 等

【京都府の取組】

■就業サポートセンター（京都ジョブパーク内）

- ・京都府においては、国のモデル地域採択を受け 2004 年（平成 16 年）に「若年者就業支援センター（ジョブカフェ京都）」を設置、就職氷河期を中心に、若年者の就労支援を開始（概ね 34 歳以下を対象）
 - ・現在は、京都ジョブパーク（ジョブカフェ京都から発展）の内部組織である「就業サポートセンター」に“若手人材担当”を置き、就職氷河期の方をはじめとした若年者について就労支援を実施
- <③実績：就職内定者数 1,557 人、うち正社員 1,067 人>

■就職氷河期世代正規雇用化促進事業費（令和元年度 9 月補正 10 百万円）

正規雇用への意欲を持つ就職氷河期世代の方に対し、集中的なスキルアップ研修と企業とのマッチングを実施

■若者就職・定着総合応援事業費（令和元年度予算 65 百万円）

就職困難な若者に対する伴走支援のノウハウを活かした座学から企業実習、訓練終了後のサポートまでの伴走型の訓練を実施

- ・人材育成（約 2 箇月間）：社会人基礎力養成→業界基礎知識習得→企業実習
- ・就職・定着支援（約 2 箇月間）：インターンシップ、就職後のカウンセリング